

## 第166回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年12月22日（木）16:00～16:14
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

#### 【資料1】

昨日の新規陽性者数は、2,566人です。

新規陽性者数は、先週の同じ曜日を下回る日が続いておりますが、3千人を超える日があるなど、引き続き、厳しい状況が続いております。

次に、4ページ。

21日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、457人です。このうち、重症者が6人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は575人です。

宿泊療養施設入所者数は、368人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、976.57人。

20日から2日続けて、1,000人を下回りましたが、引き続き、高い水準で推移しております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、59.7%。

先月22日から30日間連続で50%を超え、20日には、8月26日以来約4ヶ月ぶりに60%を超えるなど、6割に近い水準で推移しております。

次に、11ページ「重症者用の病床使用率」が、13.0%、

1週間の発熱外来患者の状況が、14,404人となっております。

「保健医療の負荷の状況」、「社会経済活動の状況」、「感染の状況」を総合的に勘案すると「レベル2」と考えておりますが、医療への負荷は非常に大きな状況が続いております。

次に、13ページ、資料3-1をお願いいたします。

#### 【資料3-1】

無料検査の期間の延長についてです。

感染不安を感じる県民の方々を対象とした無料検査につきまして、「3」の期間のとおり、令和5年1月31日まで延長いたします。

検査実施場所は県内207箇所に整備しており、県ホームページに詳細を掲載しております。

なお、「その他」に記載のとおり、12月24日から1月12日までの間、帰省で県内を訪れる県外の方々を対象とする無料検査を一時再開いたします。

次に、14ページ

臨時無料検査拠点の開設についてです。

#### 【資料3-2】

12月29日～1月9日まで、福島駅西口広場、郡山駅東西自由通路、いわき駅南北自由通路に、臨時の無料検査拠点を開設いたします。

無症状の方で、これから帰省される方、高齢の御親戚の方々と面会される予定がある方や、感染不安のある県民に、無料検査の利用を呼びかけてまいります。

#### (2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

15ページ、資料4をお願いいたします。

#### 【資料4】

12月20日時点の接種実績については記載のとおりになります。

そのうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で681,385回、全人口に対する接種率は37.0%となっており、全国における接種率31.3%を5.7ポイント上回っております。

また、直近1週間の接種回数も10万回を超えるなど、オミクロン株対応ワクチンの接種が進んでおります

次のページをお願いいたします。

ノババックス社ワクチン接種の実施についてであります。

現在、オミクロン株対応のワクチン接種を進めておりますが、mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンに含まれる成分へのアレルギー等があるなど、何らかの理由で従来型のワクチンであるノババックス社のワクチン接種を希望される方を対象に、県では、記載

の会場、日時において、接種会場を設けることといたしました。

対象者は、初回接種（1回目・2回目）を完了していない12歳以上の方、又は、3回目～5回目の接種を受けられる方で、前回接種から6か月以上経過した18歳以上の方となります。

明日23日から予約を開始しますので、対象となる方につきましては、御利用を御検討ください。

次のページをお願いします。

先週の本部員会議においてお知らせしました来週27日に郡山市で実施するオミクロン株対応ワクチンの大規模接種についてでございます。

まだ、予約枠に若干の空きがございますので、県内在住で接種券をお持ちの方は、是非、この機会に御利用ください。

次のページをお願いします。

御自身や大切な方を感染から守り、感染拡大を防ぐためにも、現時点で接種可能なオミクロン株対応ワクチンや小児用ワクチンの速やかな接種をお願いいたします。

（金光教授）

第7波の時は、あまりにも多くの患者さんが出ましたので、私もびっくりしておりましたが、今般の第8波、既に第7波をしのぐ勢いになっていると思っております。

さらに第8波のほうが厄介で、このピーク付近が非常に広がっていると思います。

このことは病床利用率にも影響を与えるだろうと考えています。

今は特に空気の乾燥あるいは換気不十分というような影響もあるかもしれません。

また、これから人との接触も増えてくるということも、少し考えなければいけないと思いますが、本県では医療ひっ迫警報が出ているということでもあります。

そして、来週からは年末年始の週です。

お餅を食べ過ぎてお腹が痛くなったということはどなたにも起こり得る話だと思いますが、その時に病院で診てもらえなかったとなりますと非常に切ない思いをしなければなりませんと思います。

是非、医療機関に少しでも余力を残すよう、みんなで力を合わせて、陽性者数を減らしていくことをやっていくべきだと思います。

（知事）

はじめに、県民の皆様のため、命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力頂いている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

全国では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続き、20万人を超える日があるなど、感染拡大が続いています。

県内では、先週の本部員会議で「福島県医療ひっ迫警報」を发出して以降、新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を下回る日が続いています。しかし、確保病床使用率が60%を超える日もあり、重症者用病床使用率も10%を超えるなど、引き続き、厳しい状況が続いています。

こうした中、外来診療や入院を必要とする方に加えて、症状が悪化する方や介護を必要とする方も増加をしており、医療現場への負担が急激に増加しています。

また、濃厚接触者や陽性者となる医療従事者が急増し、外来や病棟のスタッフが不足しているほか、院内クラスターも多数発生しており、医療機関の対応力が低下しています。

さらに、救急車の受入困難事案が各地で発生をし、一般医療へも影響が生じているなど、医療提供体制は極めて厳しい状況となっています。

こうしたことから、県民の皆様には、引き続き、「福島県医療ひっ迫警報」で特にお願いしている次の二点について御協力をお願いします。

一点目は、「医療機関の負荷を減らす」ための取組です。

外来診療への集中を防ぐため、発熱等の症状が現れた場合には、検査キットを活用して、積極的なセルフチェックを行ってください。

また、緊急性の高い症状の方や重症の方の命を守るため、救急外来、救急車の適正利用をお願いします。

さらに、体調不良に備えて、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬等の事前購入をお願いします。

二点目は「感染者を減らす」ための取組です。

まず、オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種をお願いします。

次に、症状がある方と接触した方や症状がある方の同居家族の方は、御自身に症状がなくても、慎重な行動をとってください。

また、大人数、長時間の会食への参加は感染リスクが高まりますので、御自身はもとより、御家族の体調なども含めて、慎重に判断されるようお願いいたします。

次に、陽性者や濃厚接触者となられた場合のお願いです。

新型コロナウイルスは、症状のある・なしに関わらず、発症日の2日前から他の人に感染させるリスクがあります。陽性となった場合には、濃厚接触者に該当する方に連絡をしてください。

さらに、症状のある方は、発症日から10日目までは、感染させるリスクがあるため、療養解除後も引き続きマスクを着用する、会食を避ける、高齢者等との接触を避けるなどの感染対策をお願いします。

また、陽性者の同居家族など、濃厚接触者となられた方は、すでに感染している可能性があります。

陽性者と最後に接触してから7日目までは発症する可能性があるため、家族同士の接触にも注意が必要です。高齢者や重症化リスクの高い方を守るため、家庭内における感染対策の徹底をお願いします。

次に、基本対策における見落としがちなポイントとして、「人と人との距離の確保と手洗い・手指消毒」について、あらためて確認をお願いします。

まず、人と人との距離の確保です。

人と人との距離はできるだけ2mを確保してください。人との距離が十分確保できない場合には、会話を控えていただくようお願いします。

次に、手洗い・手指消毒です。

石けん等を使って、30秒間、丁寧に手を洗いましょう。手洗いがすぐにできない状況では、アルコール消毒液を有効に活用しましょう。

県内は、感染者数が非常に多い状況が続き、医療提供体制が極めて厳しい状況にあります。

このため、「福島県医療ひっ迫警報」を発出していますが、年末年始を迎え、医療体制が更に厳しい状況となることも懸念をされます。

医療を守ることは、御自身や大切な方の命と健康を守ることに繋がります。

県民の皆様お一人お一人が危機意識を持って感染対策に取り組み、日々の新規陽性者を減らすこと、そして、医療機関等を適正に利用し、医療機関の負荷を低減していくことが極めて重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。